



2023年2月9日

各位

会社名 株式会社マツオカコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 CEO兼COO 松岡 典之
(コード番号: 3611 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO (管理本部管掌) 金子 浩幸
(TEL. 084-973-5201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年11月10日の2023年3月期第2四半期決算発表時に開示した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	56,000	700	1,200	300	30.61
今回修正予想 (B)	61,000	△800	2,800	1,300	132.63
増減額 (B-A)	5,000	△1,500	1,600	1,000	—
増減率 (%)	8.9	△214.3	133.3	333.3	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	51,056	181	1,037	559	57.06

2. 修正の理由

売上高は、円安の進行により円換算した売上額が増加したことに加え、中国のゼロコロナ政策の転換により新型コロナ感染が再拡大するなか、当社の強みである多元的な生産拠点網によって、中国からASEAN諸国等へ生産地移管を検討する顧客のニーズに対応し、需要を取り込んだ結果、売上高が総じて想定を上回る見込みであります。

営業利益は、急激な円安進行の影響を受けて在外子会社の費用の円換算額が増加し、前回発表予想を下回る見込みですが、経常利益は、為替変動リスクのヘッジを目的として、従前から一部の取引先と締結している個別の契約によって、営業利益のマイナス要因となった費用の増加が吸収され、前回発表予想を上回る見込みであります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加により法人税等の税金費用が増加するものの、前回発表予想を上回る見込みであります。

以上